

2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 株式会社ネオマーケティング 上場取引所 東・名
 コード番号 4196 URL <https://www.neo-m.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 橋本 光伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 森田 尚希 (TEL) 03-6328-2880
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	1,717	7.0	6	△85.7	4	△90.5	97	△42.9
2024年9月期第3四半期	1,605	△5.9	47	△80.5	47	△80.6	170	11.2

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 97百万円(△42.9%) 2024年9月期第3四半期 170百万円(11.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	39.17	38.95
2024年9月期第3四半期	69.04	67.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	1,932	899	46.6
2024年9月期	1,686	810	48.0

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 899百万円 2024年9月期 810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	9.6	0	△100.0	0	△100.0	70	△52.5	28.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	2,532,000株	2024年9月期	2,530,400株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	60,374株	2024年9月期	53,674株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	2,483,168株	2024年9月期3Q	2,468,728株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「～Make Everyone Wonderful～私たちは人の心を満たす商品・サービスがあふれる社会を目指している」をビジョンに掲げ、企業のマーケティング活動を強力に支援するサービスを包括的に提供しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績の堅調な推移や人手不足を背景とした雇用・所得環境の改善、円安の進行によるインバウンド需要の拡大などを受けて、緩やかな回復基調を示しました。一方で、長期化するインフレによる個人消費の低迷、資源価格の高止まり、地政学的リスクの継続、さらには米国を中心とした金融政策の変動など、内外の不確実性が重なり、先行きには依然として不透明感が残る状況となっております。

日本企業は、DX推進、イノベーションの創発、生産性の向上、人口減少の中での顧客創造といったテーマに直面し、急速に変化する市場環境の中でマーケティングのあり方そのものの見直しを迫られております。そういった課題背景のもと、中長期的に当社グループが提供するマーケティング支援事業の需要が喚起されていくものと予想しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間は中期経営計画に沿って採用を実施したマーケティングコンサルタントの育成・教育に取り組み、中長期的な顧客獲得体制及びサービス受注体制拡充に向けた活動に注力いたしました。

サービス開発の取り組みとしましては、学校法人長沼スクール東京日本語学校と提携いたしました。在日外国人の生活実態をデータとして収集・分析することで、訪日外国人も含めた需要の取り込みを実現するマーケティング施策への取り組みが可能となりました。

資本政策としましては、資本効率の向上および株主還元の一環として、2025年5月より自己株式の取得を実施しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,717,275千円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益6,751千円（同85.7%減）、経常利益4,459千円（同90.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益97,274千円（同42.9%減）となりました。

なお、当社グループはマーケティング支援事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、1,932,745千円となり、前連結会計年度末に比べ245,952千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加196,703千円、未収入金の増加170,126千円があった一方で、受取手形及び売掛金の減少53,281千円があったことによるものです。

(負債)

負債につきましては、1,032,953千円となり、前連結会計年度末に比べ156,451千円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加157,631千円があった一方で、買掛金の減少11,526千円があったことによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、899,791千円となり、前連結会計年度末に比べ89,501千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益97,274千円の計上による利益剰余金の増加があった一方で、自己株式の減少6,777千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました通期の業績予想から修正しております。詳しくは、2025年8月13日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当該業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	714,163	910,867
受取手形及び売掛金	272,825	219,543
仕掛品	29,149	38,926
貯蔵品	6,525	9,601
未収入金	49,102	219,228
その他	39,635	87,852
貸倒引当金	△243	△186
流動資産合計	1,111,158	1,485,833
固定資産		
有形固定資産	35,512	32,366
無形固定資産		
のれん	145,512	132,951
顧客関連資産	24,066	21,966
ソフトウェア	36,265	31,605
無形固定資産合計	205,845	186,523
投資その他の資産		
差入保証金	255,496	44,219
その他	78,780	183,802
投資その他の資産合計	334,276	228,021
固定資産合計	575,633	446,911
資産合計	1,686,792	1,932,745
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,460	56,934
1年内返済予定の長期借入金	121,500	181,534
前受金	32,701	36,628
未払法人税等	3,530	3,567
賞与引当金	—	14,862
パネルポイント引当金	82,077	89,974
その他	169,546	153,790
流動負債合計	477,816	537,291
固定負債		
長期借入金	393,492	491,089
資産除去債務	3,057	3,072
その他	2,136	1,499
固定負債合計	398,685	495,661
負債合計	876,501	1,032,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,621	85,741
資本剰余金	285,622	284,506
利益剰余金	500,343	597,617
自己株式	△61,296	△68,073
株主資本合計	810,290	899,791
純資産合計	810,290	899,791
負債純資産合計	1,686,792	1,932,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,605,524	1,717,275
売上原価	875,116	914,120
売上総利益	730,407	803,155
販売費及び一般管理費	683,169	796,403
営業利益	47,237	6,751
営業外収益		
受取利息	3	255
業務受託料	552	109
補助金収入	627	319
その他	1,112	510
営業外収益合計	2,294	1,193
営業外費用		
支払利息	2,405	3,486
支払保証料	41	—
営業外費用合計	2,447	3,486
経常利益	47,085	4,459
特別利益		
子会社株式売却益	167,899	1
特別利益合計	167,899	1
税金等調整前四半期純利益	214,984	4,460
法人税、住民税及び事業税	23,124	6,183
法人税等調整額	21,412	△98,997
法人税等合計	44,536	△92,814
四半期純利益	170,448	97,274
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,448	97,274

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	170,448	97,274
四半期包括利益	170,448	97,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,448	97,274

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下、「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、マーケティング支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	6,806千円	12,096千円
のれんの償却額	13,927	12,561